

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
解剖学Ⅱ (理学療法学科中心)		必修 (理) 選択 (福)	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
坂本 宏史 他	D305	sakamoto		木曜日 10:00~13:00	
授業の目的・概要	解剖学Ⅰで学習した「神経系」の内容を発展させ、「脳神経」と「自律神経系」、次いで神経系と関連の深い「感覚器」の構造と機能を理解する。内臓 (消化・呼吸・泌尿・生殖器等) を構成する器官の構造と機能、立体的な位置関係を理解する。また人体の発生について理解し発生学用語を習得する。感染症予防のため、遠隔授業を取り入れるが、メールやマイクロソフト Teams を利用してフィードバックを行う。				
学習上の助言	医療の専門領域を学ぶための文字通りの基礎科目である。解剖学で神経系の構造を学ぶ際に、常にこの部位の障害のことも念頭に置いて欲しい。また、神経の機能を学ぶ際には、「運動性」「感覚性」「体性」「自立性」の4つの考え方を身につけて欲しい。				
教科書	解剖学アトラス 原著第10版/著: Platzer Fritsch, Kühnel Kahle, Frotscher 訳: 平田幸男/文光堂				
参考書	プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部/神経解剖 第2版/監訳: 坂井 建雄/河田 光博/医学書院 プロメテウス解剖学アトラス 胸部/腹部・骨盤部 第2版/監訳: 坂井 建雄/大谷 修/医学書院				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	脳神経と自律神経系について構造と機能を正しく説明できる。			PT(1), (2), (3), HSU(1), (2)	
②	感覚器について構造と機能を正しく説明できる。			PT(1), (2), (3), HSU(1), (2)	
③	内臓の各器官の立体的位置関係をイメージでき、関連する用語を正しく説明できる。			PT(1), (2), (3), HSU(1), (2)	
④	ヒトの発生の概略を説明できる。			PT(1), (2), (3), HSU(1), (2)	
⑤	人体の構造を立体的に理解し、説明できる。			PT(1), (2), (3), HSU(1), (2)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	脳神経 (Ⅻ~Ⅵ) について、それぞれの中樞の神経核から末梢の支配領域までの経路と機能について学ぶ。フィードバック (FB) と意見交換: 課題の解説と解答を提示し、質問などをメールで受け付ける。	印刷教材等による授業	課題: 該当する教科書の内容を理解した上で、プリントの問題を解く	6	
2	脳神経 (Ⅴ~Ⅰ) について、それぞれの中樞の神経核から末梢の支配領域までの経路と機能について学ぶ。FB と意見交換: 課題の解説と解答を提示し、質問などをメールで受け付ける。	印刷教材等による授業	課題: 該当する教科書の内容を理解した上で、プリントの問題を解く	6	
3	自律神経系について学ぶ。FB と意見交換: 課題の解説と解答を提示し、質問などをメールで受け付ける。	印刷教材等による授業	課題: 該当する教科書の内容を理解した上で、プリントの問題を解く	6	
4	感覚器の概略について学ぶ。FB と意見交換: 課題の解説と解答を提示し、質問などをメールで受け付ける。	印刷教材等による授業	課題: 該当する教科書の内容を理解した上で、プリントの問題を解く	6	
5	皮膚と皮膚の感覚器、皮膚の感覚の伝導路について学ぶ。FB と意見交換: 課題の解説と解答を提示し、質問などをメールで受け付ける。	印刷教材等による授業	課題: 該当する教科書の内容を理解した上で、プリントの問題を解く	6	
6	視覚器と視覚の伝導路について学ぶ。FB と意見交換: 課題の解説と解答を提示し、質問などをメールで受け付ける。	印刷教材等による授業	課題: 該当する教科書の内容を理解した上で、プリントの問題を解く	6	
7	聴覚器・平衡覚器とその伝導路について学ぶ。FB と意見交換: 課題の解説と解答を提示し、質問などをメールで受け付ける。	印刷教材等による授業	課題: 該当する教科書の内容を理解した上で、プリントの問題を解く	6	
8	呼吸器 気道と肺について学ぶ。	同時双方向型遠隔授業	プリント資料と教科書 P264~286 を予習・復習、キーワードの抽出	4	
9	内臓の概略、消化器 1 (口、咽頭) について学ぶ。	同時双方向型遠隔授業	プリント資料と教科書 P288~301 を予習・復習、キーワードの抽出	4	
10	消化器 2 食道、胃、小腸、大腸、肝、膵について学ぶ。	同時双方向型遠隔授業	プリント資料と教科書 P304~327 を予習・復習、キーワードの抽出	4	

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系/旧カリキュラム】

11	小テスト(呼吸器、消化器小テストについて) Teams を使って実施、FB:採点して返却 泌尿器腎臓と尿路について学ぶ。	同時双方向型遠隔授業	プリントを中心に小テストのための復習、プリント資料と教科書 P330～337 を予習・復習、キーワードの抽出	4
12	生殖器について学ぶ。	同時双方向型遠隔授業	プリント資料と教科書 P338～355 を予習・復習、キーワードの抽出	4
13	内分泌器について学ぶ。	同時双方向型遠隔授業	プリント資料と教科書 P383～400 を予習・復習、キーワードの抽出	4
14	人体の初期発生について学ぶ。	同時双方向型遠隔授業	教科書 P361～380 の内容の予習・復習、キーワードの抽出	4
15	まとめ(泌尿・生殖器、内分泌、発生学について)小テスト Teams を使って実施、FB:採点して返却	同時双方向型遠隔授業	プリントを中心に期末テスト(泌尿・生殖器、内分泌、発生学について)のための復習、	4
試	期末試験は行わない。			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	0	0	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	48	0	0	0	10	58
	思考・推論・創造する力	12	0	0	0	10	22
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	授業内におこなう 2 回の小テストで評価する(全体の 60%)。主に教科書および授業内に提示するプリント資料中のキーワードから出題する。	テストを採点后返却・講評
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
成果発表	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
その他	①	個々の自宅学習課題の提出回数・内容を総合的に評価(全体の 40%)	課題の模範解答・解説を提示し、質疑にメールなどで対応
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

備 考

**教員の実務経験**：担当教員は解剖学で博士号（医学）を取得しており、本学（専任教員）および山梨大学医学部（非常勤講師平成 31 年現在）で長年解剖学の教育に携わってきた解剖学教育の専門家である。

**実践的授業の内容**：解剖学における人体の構造に関わる項目の概念は、書物や視聴覚教材によって理解できると思うが、臨床時に応用できるまでの確固たる知識やイメージを獲得しにくい部分が多々ある。この授業では、実際に人体解剖に携わってきた教員により、経験に基づく様々な視点から人体の構造についての具体的な解説がなされるため、やがて臨床家となる受講者にとっては実際に即した知識を獲得でき、受講者の疑問への対応を通して、より実践的な教育を受けることができる。

**人体解剖学見学実習**：解剖学Ⅱを修了した者を対象に、山梨大学医学部解剖学講座の協力を受け、人体標本を用いた見学実習を 3 月に行う（詳細は別途連絡）。

感染症予防のため、Teams を使って同時双方向型遠隔授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推薦する。

また、今後の新型コロナウイルス感染症の状況などによって再度シラバスが変更される可能性がある。